
今日の力

2017 年 11 月 6 日～11 月 12 日

翻訳 藤岡伸子

鈴木慈久

編集 岩田欣三

この冊子の聖句は、新改訳聖書第三版を使用しています。

御茶の水キリストの教会

11月6日(月)

主に目を向けて

聖書朗読 I コリント 1:27～29

そこでこのふたりも、残りの人たちのところへ行ってこれを知らせたが、彼らはふたりの話も信じなかった。 マルコ 16:13

私の職場近くのカフェに毎朝集まるグループがいます。彼らはとても大きな声で話すので、意識しなくても内容が分かるほどなのですが、話題は政治的な内容が多いようです。そのグループには、彼らを教え諭すような人が加わることもあり、その人が会話の内容に皮肉なコメントを付け加えることもあります。そのグループには、クリスチャンも何人かいるようです。

彼らはとても知的で、活発に語り合い、人権やビジネス、お金、人種といった様々な問題について議論しています。けれども、私が意識する点は、彼らが語らない事、それは、神様ならどのようにお考えだろうかという視点ですが、彼らの会話にはそうした視点は出てきません。

彼らがどのような視点を持つグループなのかは問題ではありません。どのようなグループでもそれぞれの視点があるからです。ただ私が言いたいのは、神が彼らの会話の中に招かれていないという事です。パウロは『神は、知恵ある者をはずかしめるために、この世の愚かな者を選び』と言っています。私にはこのグループが「神が政治について何を知っているのか」と言っているように思えます。

WWJD (What would Jesus do? イエス様ならどうなさるだろう) と書かれたプレスレットがよく身に付けられますが、この意味するところは、彼らのような姿勢とは正反対のものです。神のために語ることが自分にとって不都合と思えるような時であっても、自分の選択や語る言葉が神のみこころを映すものか、それとも、単なる人間の醜さから来るものなのかを吟味することが大切だと思います。

讃美歌 293

祈り 親愛なるお父様。あなた様はとても賢く強いお方です。私たちは取るに足りない愚かな者です。あなた様を信じ、政治的な手段などに答えを求めたりするのではなく、あなた様を称える生き方を求めることができるようお導きください。あらゆる点において謙虚な者とさせてください。

イエス様のお名前によって祈ります。アーメン。

ブルース・W・ロージ

カリフォルニア州 マーセッド

11月7日(火)

キリストのかおり

聖書朗読 IIコリント 2:14~17

キリストもあなたがたを愛して、私たちのために、ご自身を神へのささげ物、また供え物とし、香ばしいかおりをおささげになりました。 エペソ 5:2

何の匂いだろう。感謝祭の朝、フライパンから立ち込めてくるあのセロリとセージの良いかおり、あるいは、キャンプをした朝、目覚めるとテントに漂ってくるあのベーコンの美味しそうな匂い。そうかと思えば、夜の散歩に犬を外へ連れ出そうとした瞬間嗅がされるあの野生のスカンクの臭い。あなたもこのような臭いやかおりの経験があるでしょう。

パウロは、『至る所で私たちを通して、キリストを知る知識のかおりを放ってください』と言っています。私たちは、救われる人々にとっては『いのちから出ていのちに至らせるかおり』ですが、滅びに至る人々にとっては『死から出て死に至らせるかおり』なのです。そこで真に大切なのは、「私たちが他の人々にとってどのようなかおりを放つ存在であるか」ということです。

神は、私たちを導いてキリストによる勝利の行列に加え、主にあって語る者となるようにとお命じになっておられます。主にあって語る私たちのことばに耳を傾け応答する人々と、それを拒絶する人々とは、私たちのかおりをそれぞれ異なったものとして捉えているということなのでしょう。けれども、彼らがどう受けとめるかは、神とキリストのために語り、かおりを放つ私たち自身にかかっているのです。私たちが分かち合うかおりは、私たち自身のものではなく、キリストのかおりです。それは、カルバリーの十字架上で私たちのために身を裂かれたお方のかおりなのです。

讃美歌 521

祈り 親愛なる主よ。父なる神のひとり子が身を捧げてくださったこと、そして、そのお方が私たちのためにもたらしてくださったかおりを感謝します。そのかおりを、この世の人々にもたらし、キリストを知る知識のかおりを広げさせてください。

イエス様のお名前によって祈ります。アーメン。

J・リチャード・トンブソン
テネシー州 ナッシュビル

11月8日(水)

尊き神を見よ

聖書朗読 エペソ 1:3~10

キリストも一度罪のために死なれました。…私たちを神のみもとに導くためでした。 Iペテロ 3:18

イエス様はなぜ、天を諦めてまで、地上での苦しみを受けてくださったのでしょうか。なぜこの世の闇の力に身を任せ、壮絶な苦しみへ耐え、さらには十字架上の恥まですべて受けて死なれたのでしょうか。

これらの問いにあなたならどう答えますか。多くの人は、「それは、私たちの為に成された。イエス様は、私たちをこの上もなく愛しておられるから」と答えるでしょう。別の言い方をすれば、私たちは、イエス様が自分を大切に思ってくくださるから、愛してくくださるのだと思うかもしれません。けれども、そこで考えるのを止めず、さらに深く考えてみましょう。

イエス様が私たちをこよなく愛しておられるのは真実ですが、その御愛を注いぐくださるのは、私たちに価値があるからではなく、神が限りなく尊い存在でおられるからなのです。イエス様が示そうとされたのは、私たちがいかに価値ある存在かということではなく、神がいかに尊い存在でおられるかということなのです。

私たち人間の自然な傾向として、人が自分を尊重し大事してくれる時、愛されていると思いがちです。けれども、イエス様の私たちに対する御愛は、そのような愛よりもずっと深く本質的な愛であり、その御愛こそ、私たちの心の目を開き、神のご栄光を見させてくださるのです。私たちは、主のご栄光を受け入れれば受け入れるほど、抑えきれないほどに主に引き寄せられ、主とともに、自分ではなく神を称えるようになります。

讃美歌 15

祈り 神よ。人が自分を尊重し大事してくれる時、心地良いと感じるというのが私の正直な思いです。自らを偶像とする私を赦し、どうかあなた様の栄光を私にお示しください。その栄光を見せていただきたいと切に願います。

イエス様のお名前によって祈ります。アーメン。

チャック・ブリアント
テキサス州 ラボック

11月9日（木）

恵みを受け取る

聖書朗読 エペソ 2：8～10

愛と善行を促すように注意し合おうではありませんか。ある人々のように、いっしょに集まることをやめたりしないで、かえって励まし合い、かの日が近づいているのを見て、ますますそうしようではありませんか。 ヘブル 10：24～25

私たちは夫婦で銀婚式のお祝いに、エリス島や自由の女神を巡るニューヨークの旅に行きました。2年前、学生たちをパリに連れて行った際、この自由の女神の原像を見ましたが、ニューヨークの自由の女神を実際に見たのは今回が初めてでした。あの灯りをともし松明を見て、アメリカに贈られてきた女神像にどのような思いが込められていたのかを考えると、深く心動かされずにはいられませんでした。勿論この国は、これに限らず、外国からやって来た数えきれないほど多くの人々に多大な恵みを受けてきています。この松明について、ベン・スウィートランドはこう言っています。「松明は、自らが光を放っていないければ、他者の道を照らすことはできない」。

この像に込められた意味を、恵みと従順さという関係に当てはめてみて、私は、この女神像というフランスからの贈り物に込められた自由という精神が、アメリカ人自身で築いていく必要があったことに気付かされました。これと同じように、神の贈り物である救いも、私たちの側で、神を愛し従順な姿勢でそれを喜んで受け取る必要があります。救いは、礎の石となられたイエス様の上に建てられたのです（使徒4：12）。私たちが受け取れば受け取るほど、さらに多く与えられる恵みを感謝しましょう。

讃美歌 294

祈り 親愛なるお父様。あなた様の御子を贈り物としてお贈りくださったことを感謝します。その贈り物を感謝し、救いを分かち合うことが出来るようにしてください。あなた様のみことばの光で暗闇を打ち破ることが出来るようにしてください。

イエス様のお名前によって祈ります。アーメン。

バリー・ポイナー
ミズーリ州 カークスヴィル

11月10日（金）

与えたもう神

聖書朗読 エペソ 4：7～13

私たちはひとりひとり、キリストの賜物の量りに従って恵み与えられました。
エペソ 4：7

つい先日、今日の聖書箇所がデボーションの中心となり、神が与えるお方であると聖書にどれだけ書かれているかざっと読んでみましたが、造り主のご性質の本質であるお与えになるという働きについて、数えきれないほど書かれていました。神はすべてを造られましたが、それは、神がお与えになるというご性質を備えておられるからです。

「何故私は今ここにいるのか」。この問いに対する答えは、私たちの主が、いのちと聖なるものに関わるすべてのものをお与えになる、ご自身の御姿に似た者を望まれたからです。神はいのちを造られましたが、その創造は秩序を持って成されました。神は、種子を造られましたが、その種子の中にその胚も造っておられます。また、天にすべてを造られただけでなく、すべてを完全な調和をもって造られました。さらに、肉の身体なる私たちに、あらゆる喜びと充足感を与えてくださいました。神は、語られたみことば、生けるみことばなるイエス様、そして聖書にご自身を現されました。そして私たちに、主にある新しいいのちをお与えくださり、聖霊と、心と能力と、この世の家族と霊的な家族、倫理的な感性、そして愛を表し礼拝する能力を与えてくださいました。また、霊的な成長の道と永遠のいのちの確信を与えてくださいました。こうしたことを深く思い巡らすとき、私の内なる魂はこう叫ばずにはいられません。「神様。あなた様が与えるご性質を備えられた創造主であられることを感謝します」。

讃美歌 187

祈り お父様。素晴らしく完璧な贈り物は、すべてあなた様からのものであることを知っています。真理のみことばを通して私たちが新たに生まれさせてくださったことを感謝します。

イエス様のお名前によって祈ります。アーメン。

ボブ・マイズ
テキサス州 ラボック

11月11日 (土)

何 より も 重 い 価 値

聖書朗読 ピリピ 2 : 1 ~ 11

信仰の創始者であり、完成者であるイエスから目を離さないでいなさい。イエスは、ご自分の前に置かれた喜びのゆえに、はずかしめをものともせず十字架を忍び、神の御座の右に着座されました。

ヘブル 12 : 2

1960年代のある日曜礼拝で、イエス様が審判を受けられた際に沈黙しておられたことについての聖書箇所が取り上げられました。イエス様が、大祭司カヤパの問いに對し沈黙しておられたという点について、その時私は、なぜイエス様はご自分の正しさをお示しなさらなかったのだらうと思いました。けれども後に、イエス様は、この世が始まる以前からご自身を捧げる決意をしておられたという事を学びました。聖書には、イエス様は、世界の基の置かれる前から選ばれていた(1 ペテロ 1 : 20) こと、そして、殺されることを知りながら、エルサレムに行こうとして御顔をまっすぐ向けられた(ルカ 9 : 51) ことが記されています。

ピリピ 2章の、示唆に富み私たちを励ましてくださる聖書箇所には、謙虚な思いを持ちつつ積極的に人を愛そうと努めることで、イエス様の御姿にならう者となるようにと書かれています。イエス様は自らを低くされ人となられ、従順な姿勢で、神としての権威をご自身のために用いることを拒まれたのです。

イエス様が、これから受ける十字架上のこの上もなく耐え難い苦しみと恥じを、昔ながらの天秤にかけたと想像してみてください。その苦しみと恥じの重さと釣り合うような重さのものがあつたでしょうか。それらよりもずっと重く価値あるものとしてくださったのは、私たちに対する愛の喜びだったのです。このような思いを持って、イエス様は歩まれ、語られ、そしてご自身の死を知りつつご自身のお働きを成し遂げられました。そして、主は、私たちの救いと永遠のいのちのために蘇ってくださったのです(ヨハネ 17 : 3)。

讃美歌 136

祈 り 親愛なる神様。私のような者に代わってなぜイエス様を犠牲としてくださったのか、私には理解し難いことです。けれども、感謝します。私の理解を深め、愛を持ってあなた様にお応えすることが出来るようお導きください。

イエス様のお名前によって祈ります。アーメン。

ライネット・カーナハン・グレイ
テネシー州 ロックフォード

11月12日(日)

あなたはもうすでに死んでいる

聖書朗読 コロサイ 3 : 1 ~ 4

あなたがたはすでに死んでおり、あなたがたのいのちは、キリストとともに、神のうちに隠されてあるからです。

コロサイ 3 : 3

昨年、私の大学時代のルームメイトの一人が突然亡くなりました。私はそのお葬式に参列することができました。その人は伝道者夫人で、三人の立派に育ったクリスチャン女性の母親でした。現在の教会のユースミニスターが賛辞を述べることになっていました。彼の口から出た最初の言葉はこうでした。「皆さんご存知の通り、実のところ、彼女はもうずっと前に死んでいました」。私は彼の言葉にびっくりして、少し傷つきもしました。しかし、そのとき彼はこう話を続けました。「私が彼女を見たとき、私はイエス様を見ました。彼女はもう死んでいて、イエス様が彼女の代わりに生きていたのです」。なんと素晴らしいクリスチャン人生の証でしょうか。

私たちも、クリスチャンとして、すでに死んでいるのです。私たちは天にあるものを追い求め、私たちの心を天にあるものに置きます。結果として、誰かが私たちを見るとき、彼らはイエス様を見ます。私たちは彼のうちに隠されているからです。

弟子になることが単純に、恵みから湧き出る生命を意味し、
その恵みが単純に弟子になることを意味するのだということを
知っている人は幸いです。

——— ディートリッヒ・ボンハッフアー

讃美歌 第二編 173

祈 り 親愛なる主よ。あなたの御子イエス様を地上に送ってくださったことに感謝します。イエス様のうちに隠されてある、私たちの新しい命があり、今度は私たちがあなたの栄光を他の人に映し出す番であることに感謝します。イエス様の御名により。アーメン。

マーサ・ドゥエル
テキサス州 ヘロテス